



市内の小中学校や、図書館での様々な読書普及活動を行っている「朗読ボランティアすだち」が、多年にわたる読書運動の推進活動が評価され、優良読書グループとして、読書推進運動協議会より表彰され、関係者が嘉手刈教育長へ受賞の報告を行いました。

すだちの横田康枝氏は「読書は心を豊かにする。もっと地域にも広げていきたい」とさらなる読書普及活動に向けての意気込みを語りました。

6/11 うるま市の読書普及活動に尽力 朗読ボランティアすだちへ 表彰状



【彩橋中学校3年 仲原彩葉さんの作品】

青少年の健全育成のため
うるま市民総決起大会

青少年の深夜はいかに防止や未成年者飲酒防止を目的とした同大会が行われ、多くの市民が参加しました。

会場ロビーでは中学生が描いたポスターの展示、舞台では、中学生代表の新城孝介さん、高校生代表の宮城龍成さん、PTA代表の赤嶺松貴さんらが意見発表を行い、参加者全員で大会宣言を読み上げました。

多くの大人の目でも子ども達を見守り、事件や事故の未然防止に努めましょう。



【講演会の様子】

7/4 地域で支えあう力を育む 生活支援体制整備事業 講演会

うるま市社会福祉協議会は、高齢者の生活支援・介護予防サービスの充実のため、地域の中で支えあう力を育むための体制づくりを目指しています。

沖縄大学の土地武昭教授を招き、生活支援体制整備事業と地域づくりについての講話が健康福祉センターうるまで行われました。

多くの市民らが参加し、地域の支えあいの仕組みづくりについて考える良い機会となりました。



地域からうるま市を活性化
地域活動支援助成事業に9団体

地域が主役のまちづくりのため、地域の特徴を活かし、その魅力を高め、地域活動の支援を行う「地域活動支援助成事業」に9団体が選定され、交付決定式が行われました。

島袋市長は「地域や子ども達を巻き込んだ活動に対する取り組みや、その意欲が大切。今後の活躍を願っています」と激励しました。



6/24 中部北保護区保護委員会 社会を明るくする運動 メッセージ伝達式

中部北保護区保護委員会の関係者が、市役所を訪れ、社会を明るくする運動に伴う内閣総理大臣および県知事のメッセージを島袋市長へ伝達しました。

この運動は、犯罪や非行を防止し、罪を犯した人たちの更生についての理解を深め、人が支えあって生きていく明るい地域を築くことを目的に全国で行われています。

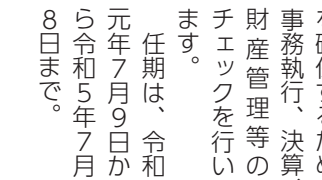


【出発の報告を行った伊波さん(左)と山城さん(右)】

教育現場で国際協力
JICA海外協力隊へ派遣

JICA(独立行政法人国際協力機構)から青年海外協力隊として伊波真理子さん(石川伊波)と山城碧さん(石川山城)がそれぞれパラグアイ共和国とガーナ共和国に派遣されることとなり、出発の報告のため、市役所を訪れました。

教員免許を持つお二人は、現地の小学校で勤務する予定。上岡副市長は「海外での経験が教員になった時に活きてくる。頑張ってください」と激励しました。



7/9 うるま市監査委員に 沢紙孝盛氏



7月9日にうるま市監査委員の辞令交付式が行われ、島袋市長より沢紙孝盛氏へ辞令が交付されました。

監査委員は、本市の効率的な財政運営を確保するため、事務執行、決算、財産管理等のチェックを行います。

任期は、令和元年7月9日から令和5年7月8日まで。



地域のみんなと一緒に
浜比嘉島で社会貢献活動

浜比嘉島でワーケーションを体験するイベント「LA Week」が開催され、多くの市民が参加しました。

その一環として、来たときよりも美しく、を地域の子ども達と実践し学ぶため、島にある公衆トイレの落書き落しや、旧浜中学校の教室をキレイにペイントする取り組みが行われました。

晴れ渡った夏空の下、額に汗をにじませながら、地域の方々とイベント参加者が協力し、作業を行いました。

※ワークとパークションを組み合わせた造語



悲劇を忘れない、変わらぬ平和への思い
宮森小学校ジェット機墜落事故 60周年 慰霊祭

宮森小学校の校舎にアメリカ空軍のジェット機が衝突・炎上した戦後最大の米軍機事故から60年。事故の起きた6月30日に、宮森小学校で犠牲者を追悼する慰霊祭が行われました。

慰霊祭には遺族をはじめ多くの方々が参列し、仲よし地蔵へ献花・礼拝が行われ、犠牲者の冥福を祈りました。

島袋市長は「歴史の真相を風化させぬよう次世代の子どもたちに平和の尊さを語り継ぐことは、私たちの大きな責務」と話し、平和のため、事故を語り継いでいくことの大切さについて述べました。



【石川・宮森630会 久高会長(左から3番目)および目録教育グループ 島袋代表(左から2番目)】

6/20 宮森小学校ジェット機墜落事故 証言集・平和メッセージ集寄贈

宮森小学校ジェット機墜落事故の証言集と平和メッセージ入選作品集が市内の小中学校および図書館へ寄贈されました。

子ども達の平和教育へ役立ててもらおうと、図書を発刊した石川・宮森630会と、日経教育グループが寄贈を行いました。

島袋市長は、「子ども達のためにぜひ活用していききたい」と感謝の気持ちを伝えました。

平和学習のため活用してほしいと、『平和グループセミナー』より、宮森小学校ジェット機墜落事故を取り上げた紙芝居『忘れないうでなかな』が市内の小中学校および図書館へ寄贈されました。

島袋市長は子ども達に伝えていくため、ぜひ活用してもらいたい」と話し、嘉手刈教育長は「みなさまの思いを子どもたちに伝えたい」と感謝を述べました。

6/18 6・30を忘れないで 小中学校図書館へ紙芝居寄贈



色とりどりの七夕がざり
ビオスの丘 笹飾り

ビオスの丘で七夕イベント「ビオスの丘 笹飾り」が開催されました。

毎年市内の保育園園児を招き、行われている同イベント。今年はラスカル保育園の園児24名が参加しました。

園児たちは「ケーキ屋さんになりたい」「とびがとびまわすように」など、願い事を書いた短冊を、目を輝かせながら笹の葉に飾り付けていました。



オクラを食べよう！
7月7日は
うるま市オクラの日

市では7月7日を「うるま市オクラの日」と制定し、オクラの消費拡大を目的としたPRイベントをうるま市マルシェで開催しました。

イベントでは、ハッピーネス保育園の園児によるダンスや、オクラ品評会の表彰式が行われました。また、うるま市マルシェでは、オクラを使った期間限定メニューの販売も行われ、うるま市のオクラの魅力をPRしました。



7/9 こどもしまみらい会議 報告 彩橋小中学生が考える 「島の未来」

彩橋小中学校に通う児童らが、生まれ育った島の未来について考える「こどもしまみらい会議」が3月に開催され、その報告のため、児童の代表と関係者らが市役所を訪れました。

児童らは、島の魅力を残しながら、更に良くなっていくため考えたアイデアを、堂々と発表しました。

嘉手刈教育長は「考えてくれた大変うれしい。何が実現できるかを考えていききたい」と述べ、子ども達の活動を喜びました。



7/7 海中道路で鉄人レース開催！ 第14回あやはし トライアスロン大会

多くのトライアスリートが集まる「第14回あやはしトライアスロン大会」が、海中道路をメイン会場に開催されました。

大会当日は夏の暑さに激しい雨も重なる厳しいコンディションとなりましたが、スイム、バイク、ランともに白熱した戦いが繰り広げられました。